



世界共通のコミュニケーションツール & マスク

校長 田畑 幹夫

外国からの観光客も多くなってきたこの頃、久しぶりに英語・中国語・韓国語などを耳にするようになりました。ところで、世界の共通語は何語でしょうか。今のところ世界で一番多く使われている言語は「英語」だそうです。イギリス・アメリカ合衆国・カナダ・オーストラリア・ニュージーランドなどで、およそ15億人以上が公用語として使っており、日本を含め、英語教育が世界各国でかなり推進されています。「Hello」「Thank you」は世界中どこにいても通じるコミュニケーションの基本でしょう。

思いや気持ちを通い合わせるツールは、言葉だけではありません。身ぶり（ジェスチャー）も大事です。1年国語説明文「みぶりでつたえる」では、「みぶりと ことばを いっしょにつかうと、じぶんの つたえたいことが、あいてに はっきりと つたわるのです。」と紹介されています。ただし、身ぶりは国や地域によっては全く異なる意味になることもあるので、注意が必要です。例えば、日本で「こっちにおいで」を意味する手招きジェスチャーは、欧米では「あっちへ行け！」になってしまいます。欧米の方に手招きしてしまうと大変な誤解を招きます。

それでは、「表情」はどうでしょう。喜び・悲しみ・苦しみなどは、世界共通なのでしょう。一般的に喜びを表す場合、😊笑いますが、微妙なニュアンスは別として世界共通であることは間違いないようです。私たちは「笑顔」を見合うことで安心します。

だからこそ、「笑顔」を隠してしまう「マスク着用」がもたらした影響が心配です。文科省の衛生管理マニュアルを拠り所に、3年間も着用してきた子ども達です。互いの顔が覚えられない、他学年との関わりがもてない状況も続き、活動の幅も限られました。果たして、心の成長、コミュニケーション能力などに影響がなかったと言えるのでしょうか。

明星大学心理学科の研究では、読解や感情統制に関わる前頭葉の機能が妨げられ、論理的思考力が低下したといった報告があります。「創造性が低下し、相手の気持ちが読めない、自分を受け容れられない。また、やり抜く力、自制心、協調性などの非認知能力に関わる内面のスキルにも影響が出ている。人は五感を刺激されることで創造性が上がるメカニズムがあるので、マスク着用や人との距離によって外的刺激を受けにくくなってしまったことが原因ではないか。」

(藤井靖 教授による「マスク着用による脳の前頭葉機能の低下」から引用)

このような研究を参考に、今こそ国レベルでの総括が必要ではないでしょうか。負の遺産があるのなら、学校現場では前を向いていく方策を考えていかなければなりません。

本校でも4月以降、「着脱は個人判断」の下、外すことを強要しない空気が流れています。先生方は「外しなさい」とは言えないのです。最近では自ら外す子が増えています。高学年は着用率が高いです。いつまで続けるのでしょうか。コミュニケーションの基本である「笑顔」、互いの表情を確認し合う尊さを思うほど、もどかしさを覚えます。

向かい合って食べるとおいしい、野外での一緒にお買い物・探検して楽しいなど、笑顔で仲間と一緒に楽しむ機会「関わり合い」をたくさん積み上げていくことが大切だと思います。

活躍する姿が光る！ 学びの場！ 「運動会」

3年ぶりの全校開催。黄色帽子をかぶった係活動の様子をはじめ、低・中学年が高学年の躍動を見ることができ、あこがれや次の目標をもつことができたと思います。また、全ての学年の子ども達が、練習の成果を存分に発揮し、精一杯走り、踊ることができました。地域・保護者の皆様の温かいご声援や拍手が子どもたちの力を後押ししてくれました。来賓の方からいただいた言葉を紹介しします。

「雨に負けず応援する子どもたち、気合を入れて競技に打ち込む姿、サポートをする教職員の皆さん、それを温かく見守る保護者の皆さんに感銘を受けました。

開催できて本当に良かったですね。」(CS委員 津山様より)

「見ていて楽しく工夫された種目で寒さを感じないくらいに楽しく鑑賞できました。子ども達は元気いっぱい競技・応援をしていて元気をもらいました。SBが約3か月の短い期間であったにもかかわらず、素晴らしい演奏ができていて驚きました。」(CS委員 天山様より)

「趣向を凝らした各競技にとっても楽しませていただきました。

3年ぶりの全校での運動会、やはりいいですね。あいにくのお天気でしたが、それにも勝る応援に温かな気持ちになりました。」(民生委員 松田様より)



前日行った「父母と先生の会による場所取り」は大雨となってしまいました。今回初めて導入した時間差方式でしたが、皆様のご協力によりトラブルなく終わることができました。最後までお手伝いいただいた役員の皆様、夜にかけてグラウンドの水抜き作業に来ていただいた保護者の皆様、様々なご協力があったからこそ、何とか無事に開催できました。紙面をお借りして、改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

命を守るためには

21日(水)、地震と火事を想定した避難訓練を行いました。告知した上で行いました。合言葉は「お(さない)・は(しらない)・し(やべらない)・も(どらない)」。これらを守り、避難経路を覚えられました。全校児童全員が各教室から避難し、短時間でグラウンドへ集合できました。

では、予告なしではどうだったでしょうか。自分の命を守るため、主体的な判断・行動ができるよう、つまり、どのような状況下であっても、自分で的確に判断し、素早く、かつ、冷静に行動することが求められます。ですから、訓練が上手にできることはそうした判断力を身に付けるための第一歩です。主体的に判断する力は、全教育活動で磨いていかなければなりません。授業は勿論、様々な場面で個々の考えをしっかりとるよう工夫していきます。



7月行事予定

- 3日(月) 朝会
- 4日(火) ~ 5日(水) 修学旅行(6年)
- 6日(木) 6年振替休業日
水泳学習(5年)
(父母と先生の会)
- 10日(月) 交通安全街頭指導
マラソン記録会(4年)
- 14日(水) 歯科検診(4~6年生)
- 11日(火) 参観日(2・4年)
- 12日(水) 参観日(1・6年)
マラソン記録会(5年)
- 13日(木) 参観日(3・5年生)
マラソン記録会(6年)
- 14日(金) 児童会
- 18日(火) 議場見学(6年)
- 19日(水) クラブ活動③
- 20日(木) 水泳学習(3年)
山部小との交流学習(5・6年)
- 21日(金) 1学期終業式

